

日本医療機能評価機構認定
西能病院
介護老人保健施設
みどり苑
内科・消化器科・在宅医療
西能クリニック

五省会ニュース

発行所
特定医療法人五省会西能病院
〒930-0884 富山市五福1130
TEL (076) 441-2481 (代)
発行人 西能 竑

新世紀・病院の進む道

福岡市で第51回病院学会



主会場のアクロス福岡前で

大きな改革の時代の幕開け

西能病院から五人参加三演題発表

新世紀・病院の進む道、激変する社会環境における生命の尊厳をメインテーマに、第五十一回日本病院学会（学会長、医療法人雪の聖母会聖マリア病院 井手理事長・院長）は、六月二十一、二十二の両日、福岡市中央区天神一丁目アクロス福岡中心に、特別講演、シンポジウム、機器展示市民公開講演、ランチョンセミナーなど、三演題を発表した。主要プログラムは、

熱いメッセージ

業務の参考に

六月二十一、二十二の両日、福岡市中央区天神一丁目アクロス福岡中心に、特別講演、シンポジウム、機器展示市民公開講演、ランチョンセミナーなど、三演題を発表した。主要プログラムは、

「本学会は、二十一世紀最初の学会であり、世界的にも、国内的にも大きな変革の時代の幕開けとなり、社会環境が大きく変化する中で、わが国の国立、公立、公的、民間の病院が一堂に会して、今後各病院の進むべき道について真摯に討議していただき、各病院の方向性を確立していただければ、学会長としてこれ以上の喜びはございません。」

社会保険構造改革の真只中、全国の病院を支える医療スタッフが一堂に会して、十四会場から各々の専門的立場で熱いメッセージが発せられた。一般演題は、五百四十題あり。この内、半数が今回力を入れたというポスターセッションである。ポスター発表は、演者を囲んで気軽に質問ができ、内容も八時間掲示されているため熱心にメモをとる参加者の姿があちこちにみられた。

講演、シンポジウム、セミナー、発表をとおして病院の進む道を考える有意義な二日間であった。

（参加者 看護部長 木林米子）

今回この様な大きな学会に参加できたことは、自分にとって大変な刺激となった。とりわけ、各地域で支持されている個人的な中小病院の経営者の方々の話は大変興味深く聞くことができ、当院においても学ぶべき点は多かった。また各演題の中でも「接遇対応」「教育研修」など実践的なテーマが多く、今後の業務や委員会活動の中でうまく取り入れていきたいと思った。

（参加者 事務部 澤井哲也）

政治改革と医療福祉

西能 竑

日本の国民のほとんどがあらためて冷えてきた。連日のマスメディアの報道が、さらに後押しをし、小泉内閣の支持率は八十%前後を維持している。構造改革と日本

高齢者の介護・医療の整備は不十分

経済再生の二本柱を明言し、国民の支持を追い風として参議院選挙に突入するが、前途多難であることは間違いないとおもわれる。

「骨太の方針」の具体的なメニューがまだ明らかでなく、又、改革に伴う「痛み」の程度が不明である。まずは一時的な経済の停滞と、失業者の増加が考えられる。

昨今の報道では、失業者の受け皿として介護

分野が大きくクローズアップされてきている。そもそも、高齢社会における医療費の圧縮のため、介護保険制度を発足させ一年余り経過したが、運用の問題点は多く、利用者も介護の現場もまだまだ混乱状態であり、経済効果も医療と介護に二分しただけで実績は上がっていないのではなからうか。

国民に介護保険料を徴収する負担のシステムを作ったにすぎないし、又、保険料の納入を二十才に引き下げると言う一部の情報も聞かれる。国民年金ですら未納者の多い現状で、この介護保険制度が安定して運用されるか前途が心配でありその場しのぎの発想のように思われる。

四月にオープンした五省会介護老人保健施設

よりも早いペースで九十%の利用者が入所し、今後の入所希望者が次々と相談に来苑されている。このような状況からみても高齢者の介護・医療の整備はまだまだ不十分であり、受け皿となる施設の不足は明らかである。

しかし、改革により発生する失業者は百万人をはるかに超える予想されており、福祉財源を圧縮しようとする基本方針を考えると、失業者の雇用市場として限りがあるであろうし、又、介護の仕事は高齢者の心と身体のケアであり、専門的な感性と技術が必要で、誰でもが勤まる職業とは考えられない。

介護に「痛み」のない対応を望みたいものであ

あすなろ

平成十二年版 女性労働白書によれば、雇用者総数に占める女性の割合は、初めて四十%台になったという。少子高齢化の進行で就業人口が減少することもあり、男女共に個人の能力を十分に発揮して働ける社会を形成することが急務である。なかでも、これまで十分に生かされてこなかった女性の能力をどう引き出すかに、二十一世紀社会の発展がかかっている。▼日本の女性は、学校を卒業して就職し、結婚、出産で仕事をやめ、子育てが一段落したら再就職をするという人が多かった。しかしこれでは、女性自身が自己実現する妨げになり、社会にとっても女性の能力を生かされず大きな損失である。子どもを持つことがハンディになるようでは少子化にも歯止めはかからない。

平成十三年盛夏

特定医療法人 財団五省会

会長 西能正一郎
理事長 西能 竑
理事 稲垣 忠一
理事 江本 清和
理事 西能 綾子
理事 森 政雄
理事 鷺山 浩一
監事 石川 実
監事 筧田 英二
理事 大上紀美雄
理事 神沢 幹夫
理事 河上弥一郎
理事 西能 孜
理事 西能 渉
理事 坂倉 ナミ
理事 坂本 重一
理事 笹山真治郎
理事 須垣 純夫
理事 土田 亮一
理事 山本 二郎
理事 吉岡隆一郎
評議員 渡辺 裕之
評議員 五省会職員一同

暑中お見舞い申し上げます

評議員 渡辺 裕之
評議員 吉岡隆一郎
評議員 山本 二郎
評議員 土田 亮一
評議員 須垣 純夫
評議員 笹山真治郎
評議員 坂倉 ナミ
評議員 坂本 重一
評議員 西能 孜
評議員 西能 渉
評議員 神沢 幹夫
評議員 河上弥一郎
評議員 西能 孜
評議員 西能 渉
評議員 坂倉 ナミ
評議員 坂本 重一
評議員 笹山真治郎
評議員 須垣 純夫
評議員 土田 亮一
評議員 山本 二郎
評議員 吉岡隆一郎
評議員 渡辺 裕之
評議員 五省会職員一同

苑内めぐり1番札所

通所リハビリテーション



一階中庭に面して通所リハビリテーションがある。定員三十名で、毎日通所者を受け入れ、在宅生活に必要な機能回復と体力維持のためのリハビリを行っている。



朝、送迎バスが通所者に乗せて帰ってくる。朝の会が始まります。スケジュールなどを伝達し、体調チェックをして活動に入ります。午前中は入浴の後、静的なリハビリの時間です。できないところ

は職員がサポートしながら、手芸や貼り絵工作などを行っています。昼食、静養を取った後は、午後のグループ活動。作業療法士の指示で日常生活を維持することを目的としたリハビリをし、さらにグループでゲーム感覚のリハビリをします。おやつ、整理体操をして一日の活動はおしまいです。家だともりがちになりませんが、友人ができて心も開かれて明るくなり、家族からも安心と喜ばれています。



六月十一日から七月九日までの一か月間、「御来光百景」と題した作品二十七点などの写真展が、みどり苑玄関で行われた。作品は寺川流域一帯、奥羽山中腹など各地から望遠レンズで日々変化する朝焼けの立山の表情を撮りためたもの。

今後は朝日町から水見までの海岸線に沿って、「夕日のとやま百景」を撮りたいとのこと。

童心にかえって大運動会 みどり苑通信



運動会は 頭と心のリハビリ



家族や小さい子どもなど五十人の応援団が声援をおくるなか、五月三十日午後、みどり苑一階デイルームにおいて、初の大運動会が開かれた。

五色の鉢巻きをしめた、全員の入場行進から始まった。西能会長は「子どもの頃を思い出して元気に跳びまわしましょう」との励ましの言葉に呼んで、「正々堂々と闘います」の男女ふたりの選手宣誓の言葉に呼んで、「三位が緑となり、二位が黄、一位が白、二位が黄」の宣誓が入った。三位が白、二位が黄、一位が白、二位が黄の宣誓が入った。三位が白、二位が黄、一位が白、二位が黄の宣誓が入った。

骨粗鬆症について 西能理事長が講師となり、骨粗鬆症について、講話が行われた。百三十人あまりの参加者は、熱心にメモなどを取りながら講演を聴き、その後、みどり苑施設内を見学した。

一期一会、心づくしのお茶会 お菓子や懐紙も手づくりで、お点前こそなかなかのもの、雰囲気はお茶席そのもの、職員が点てて出すお茶に舌鼓を打ち、その後も、歓談する姿が見られた。

宿直の前川さん 六月十一日から七月九日までの一か月間、「御来光百景」と題した作品二十七点などの写真展が、みどり苑玄関で行われた。作品は寺川流域一帯、奥羽山中腹など各地から望遠レンズで日々変化する朝焼けの立山の表情を撮りためたもの。

短冊に願いをこめて 七月誕生会と七夕



七月二日、西能病院二階デイルームで、六人の誕生会が開催された。全員でハッピーバースデーを歌って、お祝いした。看護婦、介護職員などから、「賑わいなように気をつけてね」、「いつまでも、いい笑顔を見せてください」などと寄せ書きされた色紙を贈られ、うれしさに、感激の一幕も折しも七夕祭りの時期で、患者様や職員の書いた短冊が竹の葉とともに風にさやいでいた。「早く直つて退院したい」と、歩けるように祈る言葉とともに、「子供達みんなありがたう。幸せに」と家族に感謝し、その幸運を折る親の気持ちが書かれていた。

自分の未来へ第一歩

七月九日から十三日の五日間、西能病院で「社会に学ぶ十四歳の挑戦」が実施され、西能病院の各科でさまざまな仕事に挑戦した。「十四歳の挑戦」では、自分の希望する職種を一週間体験し、社会経験や大人とのコミュニケーションを図る。療養型病棟では、



富山県は男性も女性も胃がんの死亡率も高いため、食塩の摂取量を減らすことが動物実験で認められています。胃がんの発生を促進することが動物実験で認められています。胃がんの発生を促進することが動物実験で認められています。

内科の検査

生活習慣病は自覚症状がありません。年一回健康診断を受けて早期発見に努め、異常があれば、再検査・精密検査・治療をします。一般健康診断は検査結果に異常があり、異常値がなくとも必ずしも安心できない検査項目の見方を説明をしましょう。

胃がんと嗜好

胃がんは、胃がんに由来する癌で、胃がんによる死亡者は三万二千人に達している。胃がんは、胃がんに由来する癌で、胃がんによる死亡者は三万二千人に達している。胃がんは、胃がんに由来する癌で、胃がんによる死亡者は三万二千人に達している。

信念を貫くために 自分自身の立候補を決意

西能 自民党議員 大上紀美雄氏 選挙の大変さは立候補者にはかわらないと言われたのをきつかけに、県議選出馬を決意。大上氏の真摯な生き方は、後援会長の石黒氏をはじめ、初対面の人たちの心を動かす、全面的な応援を得て善戦した。

いまを生きる

西能正一郎対談シリーズ 西能正一郎さん、選挙に出るのには、奥さんが反対しておられたのではと西能会長。「妻は三人の小さな子どもをかかえていたので、不安だったんですよ」と大上県議

温かい心で・・・発表の三演題

よりよい病院づくりを

六月二十一、二十二日の両日、福岡市で開かれた第五十一回日本病院学会、西能病院から五人が参加、三人が演題を発表した。これらの演題は、いずれも患者様のために、職員が日ごろの医療業務から生み出したもので、よい病院づくりの一端になっている。

患者様から喜びの声 誕生会導入後の効果



平成十二年五月から、当院にも、介護・医療療養病棟を導入し、患者様に少しでも楽しませたいと思ひ、レクリエーション活動を取り入れてきた。

患者様からは、「毎月の誕生会が楽しみです」「気分転換になり楽しい」と喜びの声が聞かれた。

研究を生かしたい 簡易血糖測定器について



今回、日本病院学会で簡易血糖測定器の質

退院後の動向 退院患者の8割が再院



研究発表のテーマは「入院歴のある患者の退院後の動向」というもので、六ヶ月間にわたり退院患者四百五十九名を対象として調査を行った。

このうち治療の患者様は、各年齢共に平均的であり、手術を受けた症例が六十一%を占めていた。

また、通院治療中の患者様は、半数が七十歳以上の高齢者であった。今回の調査で八割の退院患者様が再度来院されていることがわかった。

病院への信頼度や治療の断続性、満足度を把握する第一歩として、今回の調査は直接ケアする看護婦にとつて重要なものがあると考える。

この結果を元にして、さらなる外来利用率と信頼度、満足度の向上を目標にし、患者様が利用しやすい病院づくりをめざしていきたい。

新人の抱負



思いやりを
患者様一人、一人に
思いやりを持って真剣に
介護できる様に頑張
りたいと思います。

介護職 木村 千佳

病院だより

六月

自衛消防訓練

二十八日午前一時ごろ三階西病棟喫煙所より火災発生」の想定で自衛消防、消防通報、避難などの訓練終わって、西能理事長の講評があった。

(写真左は消防訓練)



七月

二十四日患者様が参院選の不在者投票。三十一日病院前で職員及び来院者が、愛の献血車(県赤十字血液センター)で献血する。

西能病院診療体制のご案内

休日診療 日曜日・祝日 午前 8:30 ~ 午後 5:00 整形外科 	平日診療 月曜日~土曜日 整形外科 午前 8:30 ~ 12:00 午後 4:00 ~ 7:00 内科 午前 8:30 ~ 12:00 午後 3:00 ~ 5:00 (火・金曜日は7:00) リハビリテーション科 午前 8:30 ~ 12:00 午後 1:30 ~ 7:00	通院バスのご案内 月曜~土曜 午前運行 (日曜、祝日は休み) ○印は常時停留所、その他、臨時停車します。	①富山駅・西町コース 丸の内→西能病院→富山大橋→旅籠町→丸の内→西町→桜橋通り→富山駅→新富町	②婦中・長沢・金屋方面 金屋→西能病院→神明→羽根→友坂口→平岡→古里郵便局→速星駅	③奥羽・中老田・北代・田川方面 畑中→西能病院→吉作→花ノ木→石坂→北代→奥羽駅→女子短大
			スポーツ整形外科 木・土曜日 午後 4:00 ~ 7:00 体力測定 月~金曜日 午前10:00 ~ 5:00 循環器外来 火・木曜日 午前8:30 ~ 12:00 眼科外来 火・水・金曜日 午前10:30 ~ 12:00	栄養指導 月~土曜日 午前10:00 ~ 11:00 在宅診療・看護 月~水曜日 午後1:30 ~ 4:00 泌尿器科外来 月曜日 午後1:30 ~ 5:00 神経内科外来 土曜日 午前9:00 ~ 12:00	人間ドック 日帰りコース 1泊2日コース 2泊3日コース 3泊4日コース (申込先) 健康事業部 8:30~17:30 西能クリニック 富山市秋ヶ島空港近く 内科、消化器科 在宅医療 (訪問看護を含む) 診療時間 午前9:00~12:30 午後1:30~6:00 休診日 木曜日・日曜日・祝日 TEL 076-428-5585

作衛左門重次が陣中から妻に宛てた手紙で、お仙とはのちの越前丸岡城主、本多成重のことですが、「一筆啓上」書簡碑が、丸岡城天守



「一筆啓上、火の用心、お仙泣かすな、馬肥せ」徳川家康の家臣、本多



閨石垣の東北端に立てられているそうです。福井県丸岡町では、日本一短い手紙としてこれまでに「母へ」、「家族」、「愛」、「父」、「母への想い」、「友へ」、「私へ」、を応募、六十三万通の作品が寄せられた

毎日瞬間、瞬間心の中で怒ったり、励ましたり励ましは、ち

皆さんも今日は、ちよつと自分を客観的に見て過ごしてみれば如何でしょうか。どんな手紙が書けそうですか? (看護部主任 松本みよ子)

簡易器の研究は大変だったが、その自分分の実になった。この知識を外来の糖尿病患者様に生かしていけたら、と思った。 (看護部 本郷幸子)

参院選の不在者投票。三十一日病院前で職員及び来院者が、愛の献血車(県赤十字血液センター)で献血する。